ニッキン

モニタリング情報10周年で記念式典

TKC

TKCは10月15日、品川プリンスホテルで「『TKCモニタリング情報サービス』10周年記念式典」を開催した。日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、三菱UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、埼玉りそな銀行、常陽銀行、千葉銀行、横浜銀行、首都圏の信用金庫、信用組合などから35人が参加した。

同サービスは、税理士や公認会計士などのTKC全国会会員が、毎月の巡回監査と月次決算から作成する財務情報を、クラウドを使い無償で金融機関に提供するもの。2016年10月に提供を開始し、現在505金融機関が導入。利用実績は累計38万件を超える。

飯塚真規社長が「税理士と金融機関の連携を強化し、中小企業を伴走支援していただきたいと願う」とあいさつ。続いて埼玉りそな銀の井口淳也執行役員が「地域金融機関と税理士の役割」をテーマに、日本公庫の辻貴博代表取締役専務取締役（国民生活事業本部長）が、「『TKCファストリンク』の意義と今後の展望」についてそれぞれ講演した。



意見を交わす（左から）飯塚社長、井口執行役員、辻専務取締役（10月15日、品川プリンスホテル）

日本金融通信社が記事利用を許諾しています
ニッキン 2026年10月30日号 12面